

「クリスマスツリー」の著者吉村和敏氏は長野県出身。1年間のカナダ暮らしをきっかけに写真家デビューをしたそうですが、1年の半分を欧米のカントリーサイドで生活し決めたテーマで5～10年かけて取材し作品集を出されているようです。カナダ、スイス、フィンランド、エストニア、チェコ、フランスのクリスマスツリーがページいっぱい広がります。



クリスマスソングのピアノ楽譜とそのCDもご利用ください。

本や論文のリクエストや質問などお気軽にメールでおよせください
tosyo@awaji.ac.jp

A 図書館：集密書架は、**入口側（60から38の書架）**、**奥の壁面（30から04の書架）**にある電動書架のことで全部開架式です。人感センサーがあり電気がつきます。他の書架を利用するときは、その電気を消して利用したい書架のボタンを押して利用します。奥の書架は総記から経済までの書籍、洋雑誌のバックナンバーと製本雑誌、和雑誌のバックナンバーと製本雑誌、新聞関連など。入口側は写真、芸術、茶道、語学、文学の書籍や複本（2冊以上ある本）一般雑誌（別置）、白書類、古書類が並びます。



B 図書：“森林”を検索すると800件以上、“樹木”を検索すると400件以上雑誌を含めて当館には蔵書があります。NDC（十進分類法）650-659までです。「アフンの森の物語」は今年亡くなられたニコルさんが、黒姫山の森を再生された物語です。「森の惑星」「森の旅 森の人」「森をゆく旅」で世界や日本の森の旅ができます。



C 雑誌：森林関係の購読雑誌は「日本森林学会誌」「森林科学」「森林応用研究」「森林立地」「海外の森林と林業」などで森林総合研究所からは購読者には、**研究報告書や研究成果集、季刊森林総研などの広報誌**が届きます。岩崎教員より寄贈いただいた「巨樹・巨木林No.59」には岩崎新理事インタビューの記事が掲載されています。全国巨樹・巨木林の会は巨樹を愛する人たちの集まりだそうです（ホームページ参照）



地理関連の購読誌は「地理」「人文地理」「GIS理論と応用・論文集」など

D 他の館：神戸市立森林植物園は標高約450m六甲山地に位置しており、1940年に整備が始められ世界の樹木が約1200種類あるそうです。アジサイ約5万株や紅葉散策などが人気があり4月から11月までは神戸三宮からも直通バスも出ています。真野響子さんが名誉園長で、当校の図書館へも来館いただきました。



「小磯良平記念美術館」は平成4年に六甲アイランドにオープンし小磯氏の油彩・素描・版画などの約2,000点の作品やアトリエが所蔵されています。アルファライブラリーには「小磯良平の描いた薬用植物画」「薬用植物画譜」を所蔵しています。

自然観察、環境教育、植物画などに活用されています。

E.質問
脱炭素社会の本は？「脱炭素経営：大手108社独自調査」「週刊 東洋経済 特集：脱炭素待ったなし！」「脱炭素社会のためのQ&A」などを購入
「こどもSDGs」や「SDGsの基礎」などもリクエストにお答えして入荷。

苔や苔園芸の本は？苔で検索すると10冊以上ありますが「苔園芸のツツ」「苔とあるく」「魅せる苔 テラリウムの作り方」「コケに誘われコケ入門」などがあります。「部屋で楽しむきのこリウムの世界」も今話題になっています。

ハゼノキから木蠟をとる方法が載っている文献は？教員からの依頼で「農業世界」や島根県立三瓶自然館研究報告の文献などをとりよせました。書籍「檜の道」には発行元の松山檜復活委員会の活動が紹介されています。

子どものあそび環境、精神医学関連の文献についての質問もありました。

編集後記：ヨーロッパ(特に北欧)ではキャンドルが生活に溶け込んでいるようですが、日本でもかつてろうそくは欠かせない時代があったことでしょう。「ろうそくの科学」を購入しました。明かりや灯に想いをはせて冬の夜長を静かにすごしたいものです。AS

